

レース名	日付	クラス	場所	コース	展開	想定馬場	ポイント
埼玉新聞栄冠賞	2018/10/24	SIII	浦和	1900m	ミドルペース	良	立ち回り力

枠	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	父	父系統	母父	母父系統	能力	騎手	適性	展開	総合評価	期待値	印	結果
1	1	ナンヨーマーク	セ7	56	赤岡	ゼンノロブロイ	サンデー系	アフリート	ミスプロ系	C	A	B	C	B	B	△3	
2	2	メジャーアスリート	牡9	56	高橋	ダイワメジャー	サンデー系	Storm Cat	ノーザン系	D	D	D	D	D	D		
3	3	ブランドハンター	牡8	56	半澤	クロフネ	ノーザン系	サンデーサイレンス	サンデー系	D	D	D	D	D	D		
4	4	トーセンデューク	牡7	58	森	ディーブインバウト	サンデー系	Fairy King	ノーザン系	C	A	C	B	B	C	×2	
5	5	トキノエクセレント	牡10	58	高松	アツミラーレ	サンデー系	ブライアンスタイム	ロベルト系	B	C	B	B	B	A	○	
6	6	ヤマノファイト	牡3	58	本橋	エスポワールシチー	サンデー系	フォーティナイナー	ミスプロ系	A	B	A	A	A	B	◎	
	7	クラージュドール	牡8	58	庄司	キングカメハメハ	ミスプロ系	サンデーサイレンス	サンデー系	A	C	B	B	B	B	▲	
7	8	カンムル	牡4	58	左海	サマーバード	ミスプロ系	Star de Naskra	ナスルーラ系	B	B	B	B	B	B	△1	
	9	ヨヨギマック	牡7	58	真島	スクリーンヒーロー	ロベルト系	サンデーウェル	サンデー系	C	B	C	B	C	B	×3	
8	10	キスミープリンス	牡10	58	笹川	ノーリーズン	ロベルト系	フジキセキ	サンデー系	C	B	B	C	C	B	×1	
	11	グルームアイランド	牡7	58	御神本	ヤマニンセラフィム	サンデー系	サクラチヨノオー	ノーザン系	C	A	B	C	B	B	△2	

隊列図	見解	ラップタイム
ヤマノ カンム ナンヨ ヨヨギ トーセ クラー トキノ グルー ブラン キスミ メジャ ミドルペース	<p>埼玉新聞栄冠賞の舞台は浦和1900m。同コースは向上面の真ん中付近からスタートしてコーナーを6回まわってゴールする。過去5年の埼玉新聞栄冠賞の勝ち馬は17年カンムル（4コーナー1番手）、16年タイムズアロー（同2番手）、15年カキツバタロイヤル（同5番手）、14年マイネエレナ（同1番手）、13年ガンマーバースト（同1番手）と4頭が4コーナー2番手以内。勝利するには先行力と立ち回り力が求められる。それでは予想にいきましょう。</p> <p>本命は羽田盃勝ち馬のヤマノファイトが強さを見せつけるか。東京ダービーは1番人気7着と期待を裏切ったが、レース後に温厚そうな本橋騎手が激怒していたようにスタート後の的場文男騎手の切込みによる影響がすべてとっていいレース。どうやら不利を受けた時に馬がハミを噛んで怒ってしまったようで、あれは参考外の一戦と割り切っていいだろう。（以下省略）</p>	回顧

枠	馬番	馬名	印	評価	結果	回顧
1	1	ナンヨーマーク	△3	能力的には圏内もドカドカと走るゼノロブロイ産駒でコーナー6回のコースに変わってプラスに働くイメージがない。ヤマノファイトに逃げられる展開だと厳しいはず。		
2	2	メジャーアスリート		前走オーバルスプリントはダートグレードで度外視可能も、2走前のA2B1のハンデ戦でも最下位に敗退。ここは回ってくるだけで終わるだろう。		
3	3	プラントハンター		4走前の葉月特別では瀧川騎手が渾身の騎乗で3着に持ってきたが、その後は苦戦続き。今回は半澤騎手が騎乗。出走賞金目当ての出走と解釈していい。		
4	4	トーセンデューク	×2	初ダートでどこまで走れるか。イメージ的にはダートに変わっていい印象を受けないが、森騎手&小久保厩舎のコンビがなんとも不気味。穴人気しても押さえておいて損はないか。		
5	5	トキノエクセレント	○	差し馬ながら非常に器用な面があり、浦和のコーナーでもスピードを落とさず上がっていきけるのが強み。その強みを生かすには外々を回るよりも内をロスなく立ち回ったほうがいいので、5番ゲートなら本馬の良さを生かせる形になるだろう。		
6	6	ヤマノファイト	◎	東京ダービーは1番人気7着と期待を裏切ったが、レース後に温厚そうな本橋騎手が激怒していたようにスタート後の的場文男騎手の切込みによる影響がすべてとあっていいレース。どうやら不利を受けた時に馬がハミを噛んで怒ってしまったようで、あれは参考外の一戦と割り切っていいだろう。		
	7	クラージュドール	▲	前走東京記念は4コーナー1~3番手の馬がそのまま1~3着に入る行った行ったのレース。差し脚質の本馬に出番がなかったのは仕方がない。一連の競馬から古馬勢では明らかに能力上位の存在。2年前の同レースでは2着に好走しており、コース適性も問題ない。乗り替わりの分だけ評価を下げた。		
7	8	カンムル	△1	昨年同レースでは2番手から早め先頭で押し切り勝ち。今回、左海騎手は間違いなく同じ形に持ち込むはずで、スタートから多少無理をしても好位の外目を取りに行くだろう。近走は低調なパフォーマンスに終わっているが、久しぶりに気分よく走れば、ガラリ変があるかもしれない。		
	9	ヨヨギマック	×3	近3走のレースぶりを見る限り、常識的に厳しい気はするが、JRA時代の実績を考えれば、もっと走ってもいいはず。ここはすんなりと先行策を打てれば、一変があるかもしれない。		
8	10	キスミープリンス	×1	気付けばすでに10歳。昨年同レースでは6着も今年は昨年以上にメンバーレベルが低いので、昨年並みのパフォーマンスを出せれば、馬券圏内が見えてくるだろう。		
	11	グルームアイランド	△2	スタミナ豊富な中長距離馬。直近の南関東重賞では17年東京記念12着、18年報知オールスターカップ8着、同年金盃11着と結果を残せていないが、今回の低レベルなメンバーなら上位進出があってもいい。		